

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金

2018 年度 事業報告

目次

- | | |
|---|--------|
| 1. ごあいさつ | P2 - 4 |
| 2. 学校法人甲南学園甲南小学校（文化厚生事業助成先）
甲南小学校・甲南幼稚園 学園長兼校長
祢津 芳信
「伊藤忠兵衛基金の文化厚生事業助成金、
心より感謝申し上げます」 | P5 |
| 3. 沿革 | P6 |
| 4. 事業活動報告（2017年度～2018年度） | P7 |
| 5. 寄附活動報告（2017年度～2018年度） | P8 |
| 6. その他報告事項 | P9 |

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金



代表理事 伊藤 勲 ごあいさつ

2012年4月1日に一般財団法人 伊藤忠兵衛基金として新たなスタートを切ってから、本年で7年目を迎えます。

当財団は国家社会から蒙った恩恵に報いるため、昭和14年（1939年）、二代伊藤忠兵衛はじめ伊藤忠商事株式会社、丸紅株式会社がその基金を拠出して設立した財団であります。これまでも日本の文化興隆を目的として、学費補給・学術研究の助成・文化厚生事業の助成を対象とした支援を実施してまいりました。

今後は、より一層目的に沿った事業の充実を図るとともに運営管理体制を整備し、学術・文化の振興及び青少年の育成に寄与すべく努力してまいります。なにとぞ、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。



評議員 扇谷 畑宏 ごあいさつ

私が初めて滋賀県犬上郡豊郷町大字八目 128-1 にある伊藤忠兵衛記念館を訪れたのは平成20年（2008年）でした。近江鉄道豊郷駅から歩いて5分ほどの所

です。この年は伊藤忠商事（株）と丸紅（株）の創業 150 年目に当たり、平成 8 年（1996 年）に一般開放された初代忠兵衛が暮らし、二代忠兵衛が生まれた旧邸で 150 周年記念事業の一つとして開催された催しに参加の機会を得ることができました。両社の創業の年が、初代忠兵衛が「持ち下がり」と言われる行商を開始した 1858 年に由来することをこの時初めて知った次第です。

中学以来親しくさせて貰っている伊藤勲君が、伊藤忠商事（株）創業者伊藤忠兵衛の曾孫、二代目忠兵衛氏の孫に当たることは知っていましたが、出会った頃の彼はバスケットボールに明け暮れるスポーツ少年でした。その後の付き合いの中でも遊びに忙しく「三方よし」の近江商人の気風といったものを感じることはありませんでした。

その彼が平成 12 年（2000 年）12 月に「一般財団法人伊藤忠兵衛基金」理事長に就任し、そのような財団法人・基金があり、「日本の文化興隆を目的」とした「学費補助・学術研究の助成・文化厚生事業の助成を対象とした支援」を実施していることを知りました。改めて伊藤勲理事長が近江商人の血筋を濃く引いている現実を認識し、忠兵衛記念館を覗いた際には非常に意義深いものを感じました。

平成 19 年（2007 年）10 月に当基金の評議員を委嘱されました。伊藤忠兵衛基金に関わって知ったことは、当基金が真摯な姿勢で人材の育成と人間形成に力を注ぎ、そこから生み出される知の共有、知の継承といったことを大きな目的としていることを理解しました。更に、それはあくまでも見返りを期待しない純粋な奉仕である、ということも理解しました。

前年度の事業報告の学術研究助成の項から言葉だけでも解りそうな研究名称を適宜拾ってみますと、「ヒト ES/IPS 細胞を用いた視床下部・下垂体疾患の再生医療に関する研究」、「風力エネルギー関連のイノベーションの促進メカニズム解明に関する研究」、「琵琶湖津波による避難困難区域の評価に関する研究」、「進行性膀胱癌の新規分子標的治療の開発に関する研究」等々となります。名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学の各研究者の研究の一助になればとの研究助成がなされています。

また、12 名の大学院博士課程在籍者について直接学費補助をしています。工学、農学、医学、薬学、理学を研究する大学院生、言語文化、法学、国際協力、経営学を研究する大学院生、学生懇談会で会した前途有為な彼・彼女らとの懇談は大変に楽しく有意義なものでした。

当基金の助成は、研究内容も研究者も多様です。将来に成果が得られればと願うばかりです。

過日の新聞に〈「世界の頭脳」に米中摩擦の余波〉〈米大学、ファーウェイ協力見直し〉〈米強硬派、産学連携に矛先〉という見出しの記事がありました。「米

中対立の余波が米国の学术界にも及びつつある」として、中国の通信機器大手華為技術（ファーウェイ）からの多額の研究開発資金提供に対する警戒、せめぎ合いが顕著になっています。私の思う当基金の「見返りのない奉仕」とは別次元の様相です。

初めて記念館を訪れたとき、電車が愛知(えち)川辺りを通過して、なんとなく懐かしい気がしたことを思い出します。今では地名は湖東町、更に東近江市と変わっていますが、滋賀県愛知郡西押立村、ここは私の母方の出所です。愛知郡と伊藤忠兵衛記念館のある犬上郡は隣り合わせ、伊藤理事長との60年を超える交流に加えて、何かしら縁のようなものを感じて「伊藤忠兵衛基金」に関わっております。

一評議員としての雑多な所感を述べてご挨拶に代えさせていただきます。

学校法人 甲南学園甲南小学校

甲南小学校・甲南幼稚園 学園長兼校長 柁津 芳信



「伊藤忠兵衛基金の文化厚生事業助成、心より感謝申し上げます」

伊藤忠兵衛基金様におかれましては、毎年当学校法人に対し多額の助成をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

本校は、神戸市東灘区住吉に1911年に幼稚園を開園、翌年に小学校を開校して以来、百年を超える歴史を刻んでまいりました。4月には、107回生の新入生を迎えました。

創設者である平生鈞三郎先生の「人格の修養と健康の増進を第一義とし、個性に応じて天賦の才能を発揮させる」という建学の精神のもと、徳・体・知のバランスのとれた人間教育を基礎として、健全な常識を持った世界に通用する人物の育成を行っています。

本校の特色あるカリキュラムの一つに、英語教育があげられます。本校では、開校後間もない時期から国際理解教育の一環として、英語教育を実施してきました。現在では、授業内容充実のため、週2回ある英語の授業を、日本人英語教師とネイティブによるティームティーチングにより行っています。そのうち1回は、クラスを半分に分けた少人数による、きめ細かい授業を行っています。

また、オーストラリアにあるアンブローズトレーシー校（男子校）とセントマーガレット校（女子校）等の姉妹校との児童交流や、春休みを利用した5年生の希望者によるオーストラリアホームステイ体験なども積極的に行っています。

その他、毎年イギリスのケンブリッジ大学から2名の学生を本校に2週間招き、児童との異文化交流を行うことで、子どもたちは刺激を受け視野を広げています。

このような本校の国際理解教育充実のために、伊藤忠兵衛基金を使わせていただいています。たいへん有り難く、重ねて御礼申し上げます。

これからも、未来を担う子どもたちの育成のために、精一杯努力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

沿革

昭和 14 年 5 月 30 日 文部省、厚生省から設立許可される。

設立発起人：

伊藤忠兵衛 伊藤竹之助 古川鐵次郎

設立時の理事：

平生鈆三郎（理事長）	村田省蔵（大阪商船社長）
松本丞治（前商工大臣）	岸本吉左衛門（前岸本商店社長）
後藤文夫（前総理代理）	伊藤忠兵衛（伊藤忠商事社長）
楠本長三郎（大阪帝大総長）	伊藤竹之助（伊藤忠商事専務）
唐沢俊樹（前警保局長）	古川鐵次郎（丸紅専務）

昭和 14 年度の第 1 回事業：

文化事業助成費：	10,000 円を支出
厚生事業助成費：	10,000 円を支出
学術研究助成費 8 件：	13,000 円を支出
学費補給 20 名：	6,600 円を支出

昭和 20 年 12 月	植場鐵三が理事長に就任
昭和 39 年 3 月	伊藤茂八郎が理事長に就任
昭和 56 年 11 月	文部省、厚生省両省の所管から、文部省の専管法人に変更が許可され、同時に当会規約の一部変更の許可を取得
昭和 58 年 10 月	伊藤恭一が理事長に就任
平成 2 年 3 月	海外留学生制度を導入し、エル・サルバドルから留学生第 1 号を迎える。
平成 6 年 10 月	宇野収が理事長に就任
平成 12 年 12 月	伊藤勲が理事長に就任
平成 24 年 4 月	内閣府より「一般財団法人」の認可を受け、財団法人を伊藤忠兵衛基金へ名称変更

事業活動報告

	(2017 年度実績)	(2018 年度実績)
学術研究事業助成	6,000,000 円	6,000,000 円
学費の補助	6,000,000 円	6,000,000 円
文化厚生事業助成	15,750,000 円	17,075,000 円
合計	27,750,000 円	29,075,000 円

2018 年（事業内訳）

・学術研究事業助成

『対象 若手研究者及び先生（講師・准教授・助教等）』

名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学の 4 大学各校 3 名計 12 名に
1 人あたり 50 万円で計 600 万円を助成。

・学費補給

『対象 博士課程後期の学生』

名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学の 4 大学各校 3 名計 12 名に
1 人あたり 50 万円で計 600 万円を助成。

・文化厚生事業助成

甲南小学校 『国際理解教育に対する助成』 : 500 万円

滋賀大学 『伊藤忠兵衛の経営活動に関する総合研究』 : 150 万円

甲南大学 『バイオナノテクノロジー研究に対する助成』 : 400 万円

甲南大学 『留学生に対する奨学金』 : 257 万円

海陽学園 『教育振興に関する寄附』 : 300 万円

公益財団法人豊郷済美会 『教育振興に関する寄附』 : 100 万円

総合計 1,707 万円

寄附活動報告

	(2017 年度実績)	(2018 年度実績)
寄附	500,000 円	500,000 円

2015 年より

- ・ 寄附先（一般社団法人 KIP 知日派国際人育成プログラム）50 万円

経緯

3 月 伊藤公一理事より「2008 年に発足した KIP は東京大学・一ツ橋大学・慶応大学等の日本人学生を対象に、日本のことを知り、考え、そして海外に発信出来る力の育成及びリーダーシップの育成等、次世代育成を目的とする一般社団法人。活動内容は、平均月 1～3 回の討論会や地方研修、年 1 回海外の大学にて討論会。参加者は学生中心であり、海外研修費用の捻出が難しいため寄附をしたらどうか」との提案があり、理事会・評議員会で承認をいただく。

その他報告事項

第8回目 奨学金受給者との懇親会を開催。

日時：2018年8月20日 17時30分～20時

会場：リーガロイヤルホテル大阪 皇家龍鳳

目的：当財団の活動内容を理解していただき、また、役員と奨学金受給者の交流、及び、奨学金受給者同士の交流を深めること。